



人工知能を活用した法務向けソリューション ~ メール監査ソリューション「KIBIT Email Auditor」ご紹介 ~

株式会社FRONTEO
ビジネスソリューション第2本部 ソリューション1グループ

畠山 薫

2020年5月21日





富山 薫

ビジネスソリューション第2本部 ソリューション1グループ ビジネスエキスパート/KIBITデータサイエンティスト

一橋大学大学院卒業後、2015年にFRONTEOへ入社し、AI事業の3人目の営業メンバーとなる。事業立ち上げ当初は、データサイエンティストのサポートとして解析も行い、営業メンバーとしては初のデータサイエンティストの職能を獲得。主に自動車業界や機械業界などを担当し、コンサルティングからデータ解析、既存アプリケーション、受託開発と幅広く提案。

- インシデント防止のための
定期/常時監査の重要性
- 人工知能を活用したメール監査の効果

1. 会社概要
2. FRONTEOの人工知能ソリューション
3. ご提供サービス KIBIT Email Auditor

1. 会社概要

会社名:	株式会社FRONTEO
上場市場:	東京証券取引所マザーズ（証券コード：2158）
本社所在地	東京都港区港南2-12-23 明産高浜ビル
設立年月日:	2003年8月8日
売上高：	11,262百万円（2019年3月31日時点）
資本金：	2,559百万円（2019年3月31日時点）
事業内容:	AIソリューション ・ リーガルテックAI事業 ・ ビジネスインテリジェンス事業 ・ ライフサイエンスAI事業

リーガル分野データ解析のリーディング・カンパニー

ディスクバリ	<p>国際訴訟ディスクバリ対応</p> 	<p>8,033件以上</p> <p>対応件数 <2005年~2019年12月></p>
	<p>ドキュメントレビュー (日本語)</p> 	<p>205件</p> <p>対応件数 <2008年~2019年12月></p>
フォレンジック	<p>不正調査 (コンピュータフォレンジック)</p> 	<p>1,564件以上</p> <p>受注件数 <2004年~2019年12月></p>

2. FRONTEOの 人工知能ソリューション

独自開発の人工知能技術を活用し
テキストの解析を中心に
お客様の課題を解決いたします

導入企業数 **209**社を突破

※実数は2019/12/31時点

Intelligence Cloud
導入ユーザー



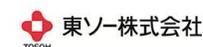
KIBIT
Knowledge Probe
導入ユーザー



KIBIT
Email Auditor
導入ユーザー



KIBIT
Patent Explorer
導入ユーザー



KIBIT Find
Answer
導入ユーザー



KIBIT - Connect
導入ユーザー



KIBIT
マーケティングパートナー



KIBIT
ビジネスパートナー



KIBIT
Patent Explorer
共同開発パートナー



Kibiro for Biz
導入ユーザー



3. ご提供サービス

「情報発見」を目的として開発された
FRONTEO独自*の人工知能

Kibit+

テキストに特化

少量の学習でOK

*特許第5567049号、特許第5526209号

KIBITは人間が意図する 微妙なニュアンスの違いを学習する

普通のメール

今日の夜、どうですか？

送信日時： 2014/07/07 (月) 15:00
宛先： ■■■さん
CC：

■■■さん

お疲れ様です。■■■です。

今日の夜、予定ありますか？
久々に飲みにも行けないかと思ひまして。
駅前の居酒屋に8時くらいでどうですか？

■■■

不正示唆メール

今日の夜、どうですか？

送信日時： 2014/08/08 (金) 14:30
宛先： ■■■さん
CC：

■■■さん

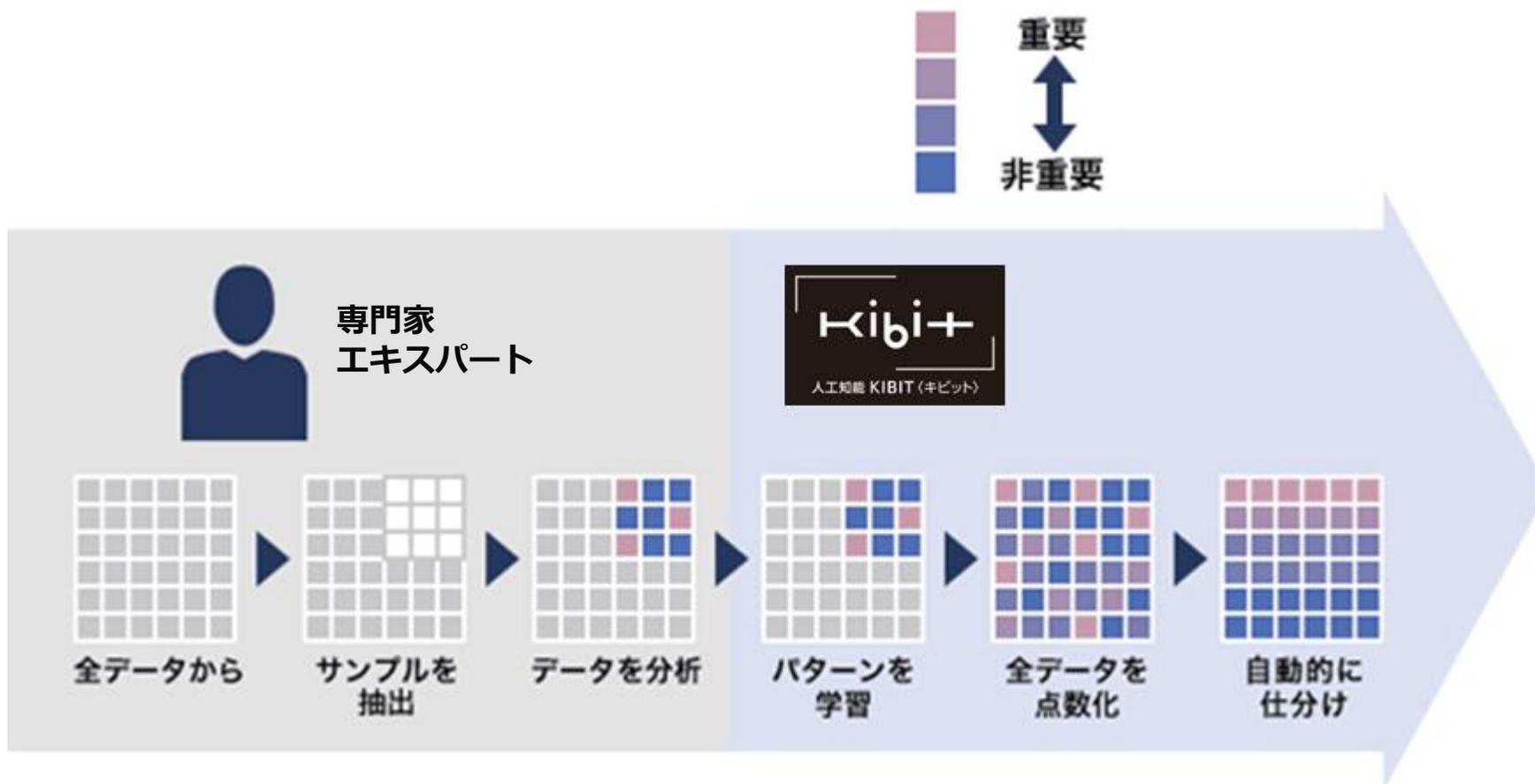
お世話になってます。■■■の■■■です。

最近はいかがですか？
もし良ければ、今日にでも飲みに行きませんか？
前回から時間も経っていますし、またお話できればと思います。
いい個室の居酒屋を見つけたので、そこにしましょう。
■■■さんも誘った方がいいですかね。

■■■

※「飲み」というキーワードで抽出

教師データから専門家の暗黙知を学習



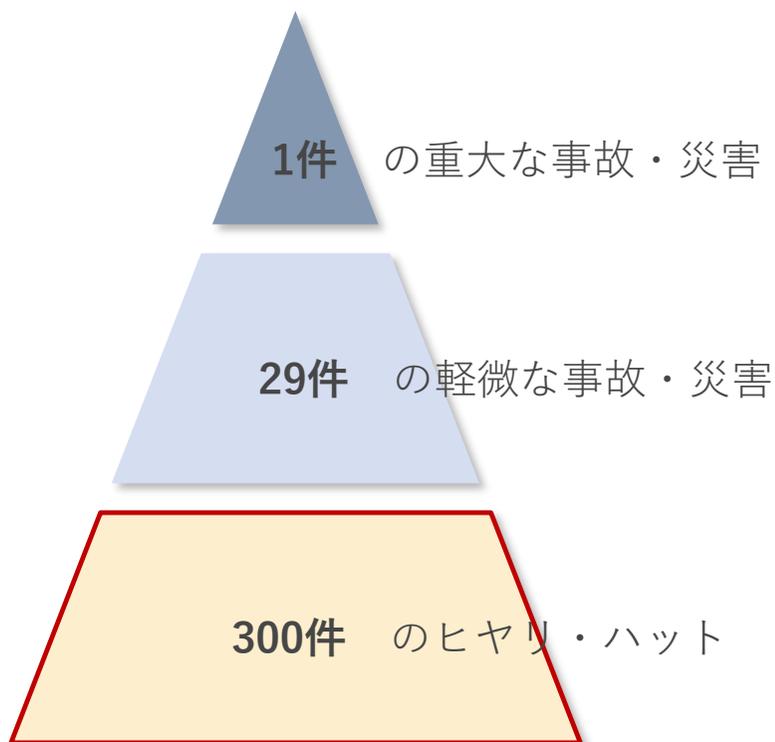


Kibi+ Email Auditor

人工知能によるメール監査システム

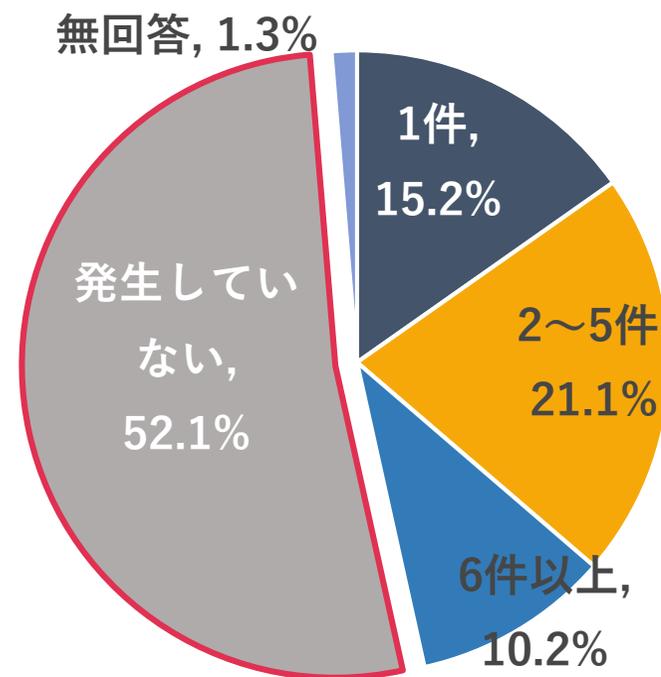
未然防止のためのヒヤリ・ハットの対応

ハインリッヒの法則



過去3年間の不正事故の発生件数

n=303



出典) 「Japan Fraud Survey 2018-2020 企業の不正リスク調査白書」
(2018年) デロイトトーマツ

テキストデータから兆候を把握

カルテル実行の3ステップ

① 関係構築



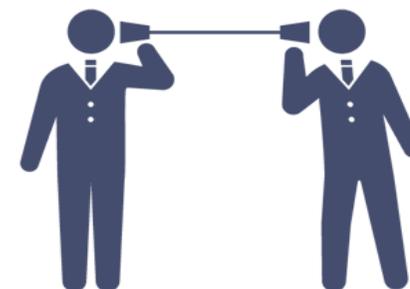
まず、異業者交流会、業界の勉強会等で競合会社の担当者と知り合い「関係構築」を行います。

② 準備



次の準備では、ゴルフや飲み会に一緒に行き交流を深めます。

③ 実行



雑談の延長で価格情報を共有されるのが、最後の「実行」段階です。

KIBIT Email Auditorを使うことで課題を解決

課題

解決案

1. 物理的にすべてを目視確認
することが出来ない



A. 人工知能KIBIT
によるスコアリング

2. フロー構築のノウハウ不足



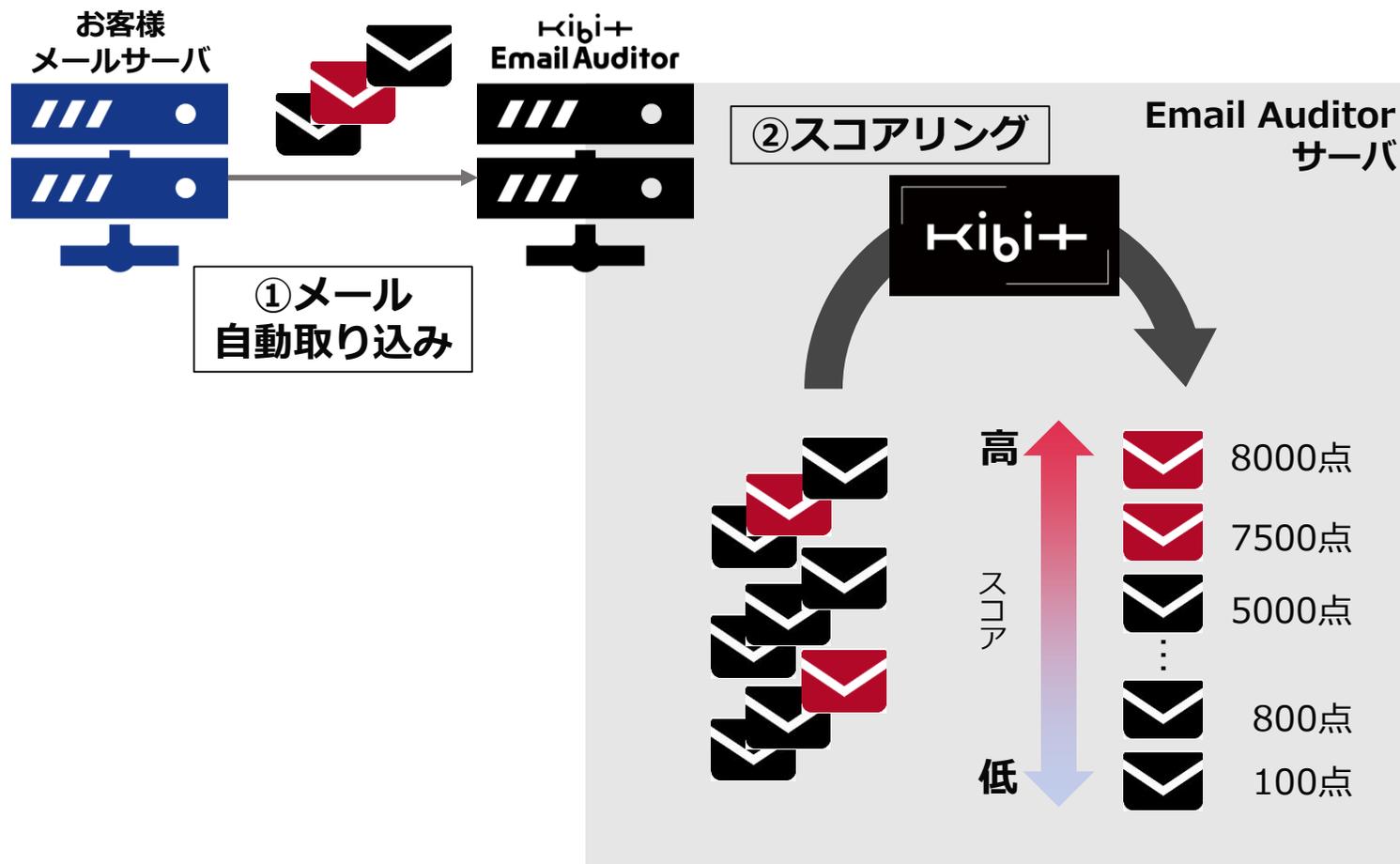
B. 弊社コンサルタント
による運用設計支援

3. 監査担当人材の不足



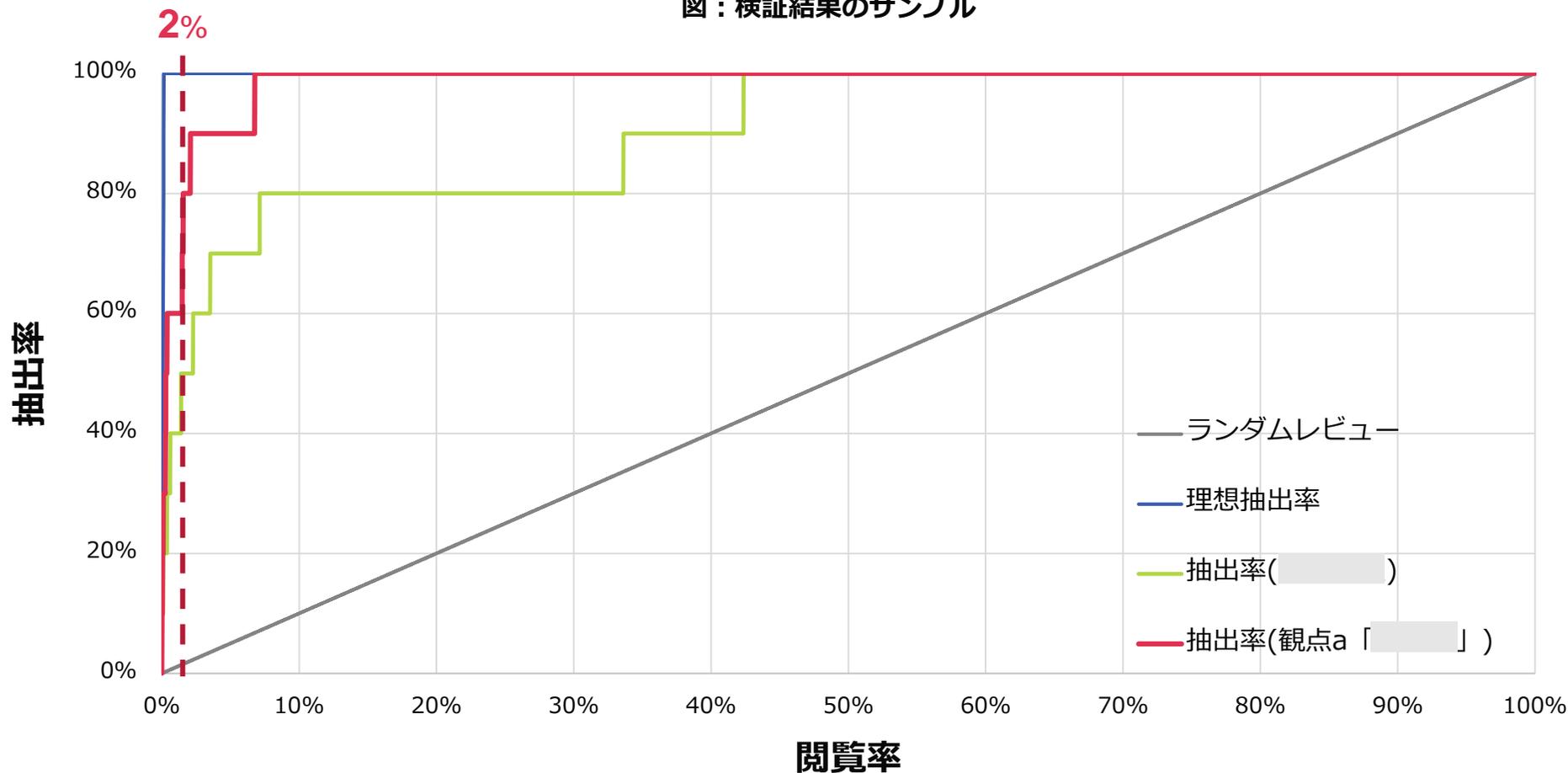
C. FRONTEOにおける
レビュー代行サービス

週次や日次で定期的に監査で、不正の予兆を早期発見



スコア上位2%時の閲覧で80%抽出可能

図：検証結果のサンプル



弊社のノウハウを活用した 学習済みデータ（ナレッジベース）をご提供

情報漏洩検知ナレッジベース



- 対応分野：情報漏洩
- 対応言語：日本語

カルテル検知ナレッジベース



- 対応分野：独占禁止法
- 対応言語：日本語

贈収賄・FCPA検知ナレッジベース



- 対応分野：不正会計・贈収賄・
海外腐敗行為防止法（FCPA）
- 対応言語：中国語、英語

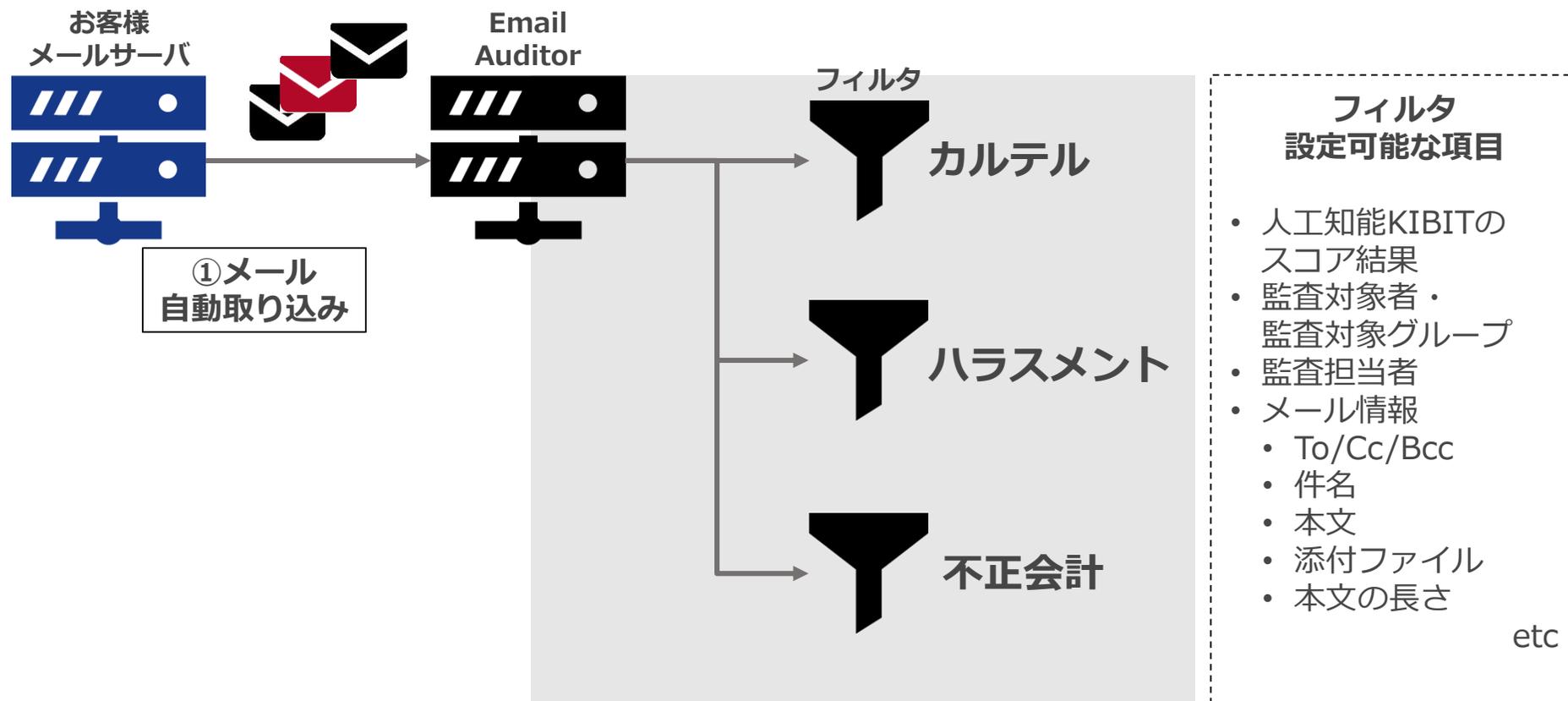
NEW

ハラスメント検知ナレッジベース



- 対応分野：ハラスメント
- 対応言語：日本語

「人工知能 + 高度フィルタリング機能」の活用



ポイント

1.人工知能のモデル作成と閾(しきい)値の設定

2.フィルタごとの監査ルール (頻度・エスカレーション)

ディスカバリなどで豊富な経験を持つ人材にて レビュー作業を代行

プロトコル作成

お客様の文書の分類方法
(分類数及び基準)を記載
した書類(プロトコル)を
作成いたします プロトコル



レビュー代行サービス

専門的な知見を持つ担当者(例、弁護士資格)を
レビュー作業の責任者と(レビューマネー
ジャー・RM)にアサインし、RMを通じて、プロ
トコルの変更や業務の進捗状況を報告いたします。



導入効果

▶導入前に監査業務がない場合

#	目的	監査対象者数	生産性向上	発見数の向上	絞り込み
01	カルテル検知	250~500名	6000倍以上	0 → 6件	1/1000以下
02	ハラスメント検知	500~1,000名	2000倍以上	2 → 80件	1/50以下

▶導入前に監査業務があった場合

#	目的	監査対象者数	生産性向上	発見数の向上	絞り込み
03	カルテル検知	250~500名	27倍以上	10 → 90件	1/3以下
04	カルテル検知	10,000名以上	15倍以上	10 → 15件	1/10以下
05	カルテル検知	250~300名	7倍以上	100 → 140件	1/5以下

DOJ がメール監査の取り組みを評価

- 米司法省（DOJ）反トラスト局は、カルテルにより有罪判決を受けた企業に対し、罰金刑と共に刑事制裁としてプロベーション（保護観察）を併科することがあります
- 国内部品メーカーA社は、FRONTEOのAIメール監査システム「Email Auditor」導入により、**プロベーションを免れる**ことが出来ました
- 定期的な社員教育や規定の改定と共に、**Email Auditorによる常時メール監査の継続が評価**されました

- インシデント防止のための
定期/常時監査の重要性
- 人工知能を活用したメール監査の効果

Q & A

**ご質問がありましたらミュート解除をして
ご発言いただくか、チャット機能を使用して
ご連絡ください。**

**ご清聴
ありがとうございました**

この後セミナー事務局からアンケートのご案内をいたしますので、是非ご協力をお願いいたします。

このオンラインセミナーは公認不正会計士CFEのCPE単位対象セミナーです。

詳細をお知りになりたい方はセミナー事務局までお問い合わせください。

seminar_info@fronteo.com